

大腸癌研究会プロジェクト研究
『穿孔性大腸癌の治療成績の研究（多施設共同レジストリー研究）』
第 8 回プロジェクトミーティング 議事録

日時：2026 年 7 月 2 日（木） 9：30～10：55

会場：広島コンベンションホール 第 4 会場（3 階 大ホール 3B）

出席者（敬称略・Zoom 参加含む）

委員長：山本聖一郎

委員：石田秀行、稲田涼、吉満政義、佐村博範、須藤剛、須並英二、諏訪宏和、
高野祥直、平木将之、廣川高久、虫明寛行、山岸茂、浅井慶子、杉本起一

オブザーバー：飯島拓望、池田聡、岩本一亜、植田吉宣、江本成伸、太田絵美、
岡田一秀、小澤真由美、卸川智史、金城達也、河村英恭、山東雅紀、
島田能史、白石壮宏、高島順平、高見澤康之、名嘉眞智樹、中守咲子、
長谷川誠司、平田祥太郎、深瀬正彦、堀義城、三口真司、村上克宏、
望月秀太郎、安井昌義、柳澤公紀、吉敷智和

事務局：茅野新、金谷泰宏、藤森まや

議題

1) 山本より前回議事録の確認、報告を行った。

2) 主論文報告

「穿孔性大腸癌の臨床疫学的検討」

東海大学 茅野先生より近く英文校正に提出予定であること、秋頃までに Annals of Surgery への投稿予定である旨が報告された。

投稿規定を確認後、共著者を依頼予定である。

「人工知能を用いた早期死亡/後期死亡のリスク因子解析」

東海大学 金谷先生より、データが整い次第、point wise linear モデルを用いた予後予測解析を行う予定である旨が報告された。

3) 副次研究概略発表

前回のミーティング後、2026 年 2 月までに応募のあったテーマを検討し、副次研究テーマ 10 件を決定した。担当施設には解析用固定データを送付し今回のミーティングでは各施設より研究の概略、解析結果についての発表と討議が行われた。各施設からの発表スライドは PDF で共有予定である。

次回プロジェクトミーティング

2027 年 1 月 28 日 第 106 回大腸癌研究会（浜松町コンベンションホール）